

土木ニュース

東亞の大動脈として

哈大道路建設を計畫

十ヶ年 工費一億六千萬圓
計 畫

世界の視聽を集めて、今や滿洲は搖籃時代から一路建設時代に邁進し新東亞の先進國として異常な發展を遂げつゝある。滿洲國交通に於ては東亞の一大動脈ともなるべき哈爾濱、大連間の大道路の建設計畫を發表すると共に交通部哈大道路建設調査事務所を奉天市義光街三四奉天省土木廳内に設置し、すでに哈爾濱、新京間の測量を終へ日下新京以南大連間の測量中でこれが完了と共に愈よ十ヶ年計畫總工費一億六千萬圓で着工する事となつた。

哈爾濱、大連一千餘杆を結ぶこの自動車道路は獨逸が世界に誇る國道を凌ぐもので、幅員四十米、中央線樹芝生を設け、觀賞地帯に依り往路と復路を區切り自動車道路は片側七米五〇、兩側は綠化地帯となすもので、自動車のスピードも百六十杆を目標として設計中で、實現の曉には超特急アシアも問題にならず、大連哈爾濱間を七時間餘で突破する譯で滿洲國產業經濟交通的一大幹線ともなるべきもので、躍進滿洲の發展に拍車をかけるものと期待される。

奉營間の大運河

來年から着工せん

工費は二千六百萬圓

奉天、營口間を繋ぐ大運河開鑿治水工事問題は過般國都新京で開催された協和會全國聯合協議會に於でも工事促進方の要望が叫ばれたが、この工事は奉天營口間全長百キロ、總工費二千六百萬圓といふ一大治水事業であるが、その長全の大半百五十餘キロは自然の河川を利用し奉天、太子河間六十キロ及び太子河、鞍山間二十六キロ計八十六キロの治水工事を施し渾河太子河と繋ぎ、大連河を經て營口に結ぶのである。本運河計畫に就いては既に現地調査測量等一切を完了し來年度豫算の決定を待ち着工するのみとなつておる。この治水工事には農閑期を利用して沿岸の農民を鍛錬員して康徳九年度に全通の豫定であるが、運河の最底水深は二米五十であるから600噸級船舶の通航可能となるので運河竣工の曉には營口方面向けの大豆は三十パーセント、鞍山の銅鐵は四十パーセントの輸送費を削減されることになりまた運河沿岸

の發展と共に各方面から期待されてゐる。

嚴寒でも平氣

コンクリート建築に一大革命

大陸科學にまた凱歌

あらゆる點に急速な發展を要求されておるわが滿洲國では氣候的惡條件に禍はされ、各種土建工事進捗上に大きな障害を投げかけておるが、この難關を克服し冬季結冰期でも何の不自由なくコンクリート建築を施工出来るやうにしようと、大陸科學院土木研究室及び滿鐵技術研究所において研究を始めた結果、ほゞ成功の域に達したので明年冬季一杯を試験期として實際的指導にあたることになつた。科學院の研究成果によると冬季コンクリート建築の難點たる保溫装置は施工物の周圍に丸太の枠を造りこれにアンペラ圓ひをなし、外物温度に應じてこの圓ひを二重三重として内部をスチーム、ストーブで燃房し、更に氣温の下る時はアンペラとアンペフとの間に枯草を入れ、大體攝氏拾度以上の温度を保つやうに設備するもので、平均零下三拾度迄は大丈夫だと折紙がつけられてゐる。

この研究は世界にも類の少い創意的なもので嚴寒建築の圓滿施行は經濟的にも利益莫大なるものあり、世界土木建築業界に一大革命を齎すものと各方面の注目を浴びておる。

なほ同院では第一回土木分科會議により大陸科學院、交通部、營繕處、滿鐵、市公署、土建協會、水電、セメント關係の技術者拾四名が。

コンクリート及び鐵筋コンクリートの寒中施工準仕様書

を作成の委託をうけ明年七月までに完成の上、明年冬季から實施の運びとなつたが土木研究室の前田副研究官（本會幹事）は語る。

滿洲でコンクリート工事の出來るのは一年のうち四五ヶ月に過ぎず、これでは國策遂行上遺憾の點が多いため、滿洲獨特の寒中施工につき各關係者が協力研究しておりますが、不凍劑の使用は鐵筋を腐蝕させる虞れがあるためどうしても保溫装置と材料加温を如何にすべきかに重點を置くべきでせう。幸ひ當院で自信案を得ましたので諸外國にも例の少い嚴寒工事の色々施工の日を實現させたいと思つてゐます。